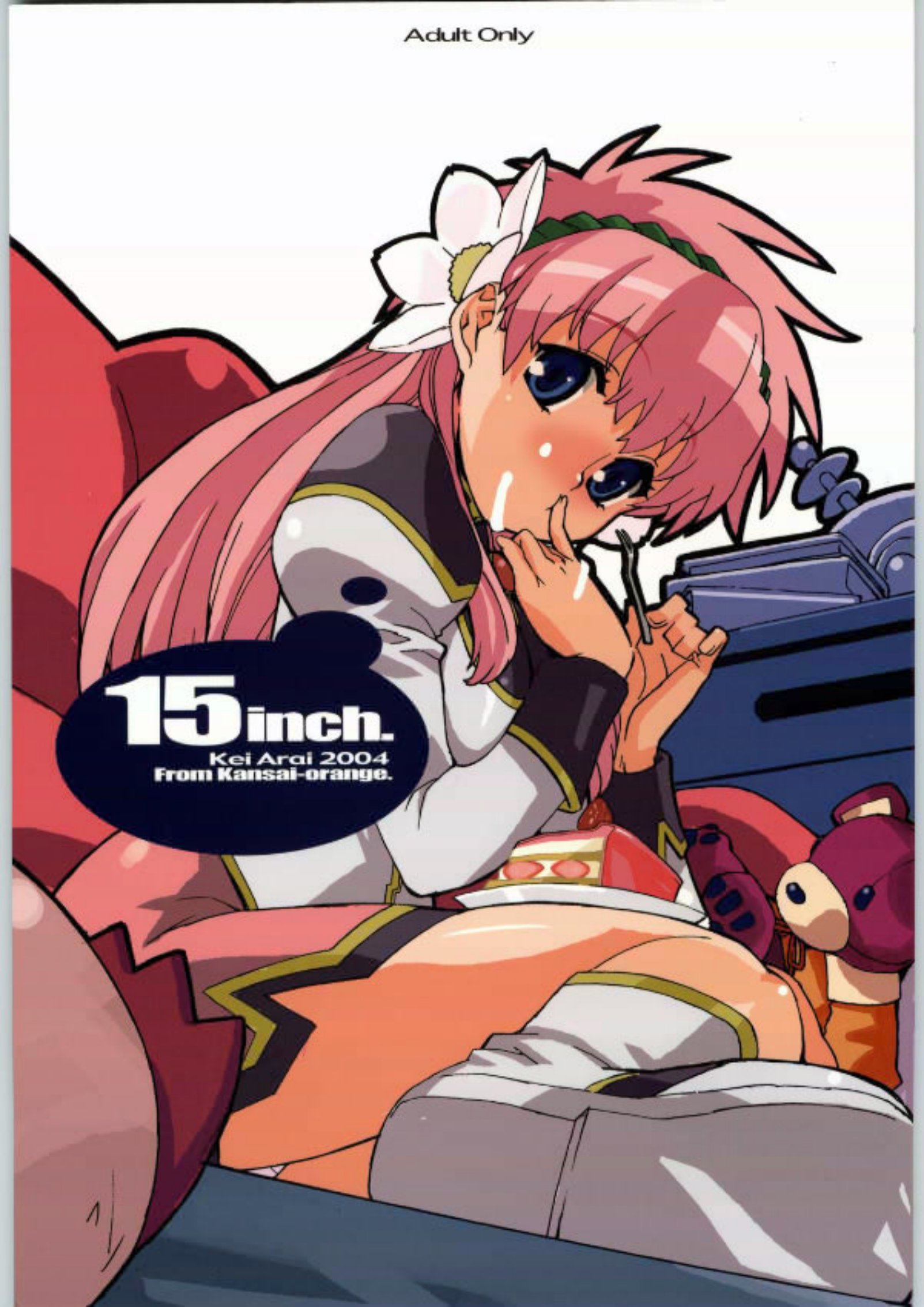


Adult Only

15 inch.

Kei Arai 2004
From Kansai-orange.



15inch.

15inch.

Milky Angel



もう、そのくらいで
いいんじゃないですか？
ランファさん。

ふふ……。
そくいうこと。
覚悟なさい。

ミルフィーユ。

ダメダメ！
いいか！
いいきかせないと
ヒドいから！
なんだから！
アタシら

ここからが本番よ。

いくわよ
ミルフイユ。

ス...

えっ？ラ、ランファさん
ちよっと待っ……！

あー



んあああ！

ふあああああああ！

本当にアレをつかうんですの？

もちろんよ。

ここまでやっちゃったんだからトコトンいっちゃいませよ。





シ、ハ、ン、ア、キ、ム。

ラ、

ふふ...
見りやわかるでしょ。

お約束のロストテクノロジーよ♡



ふえ...

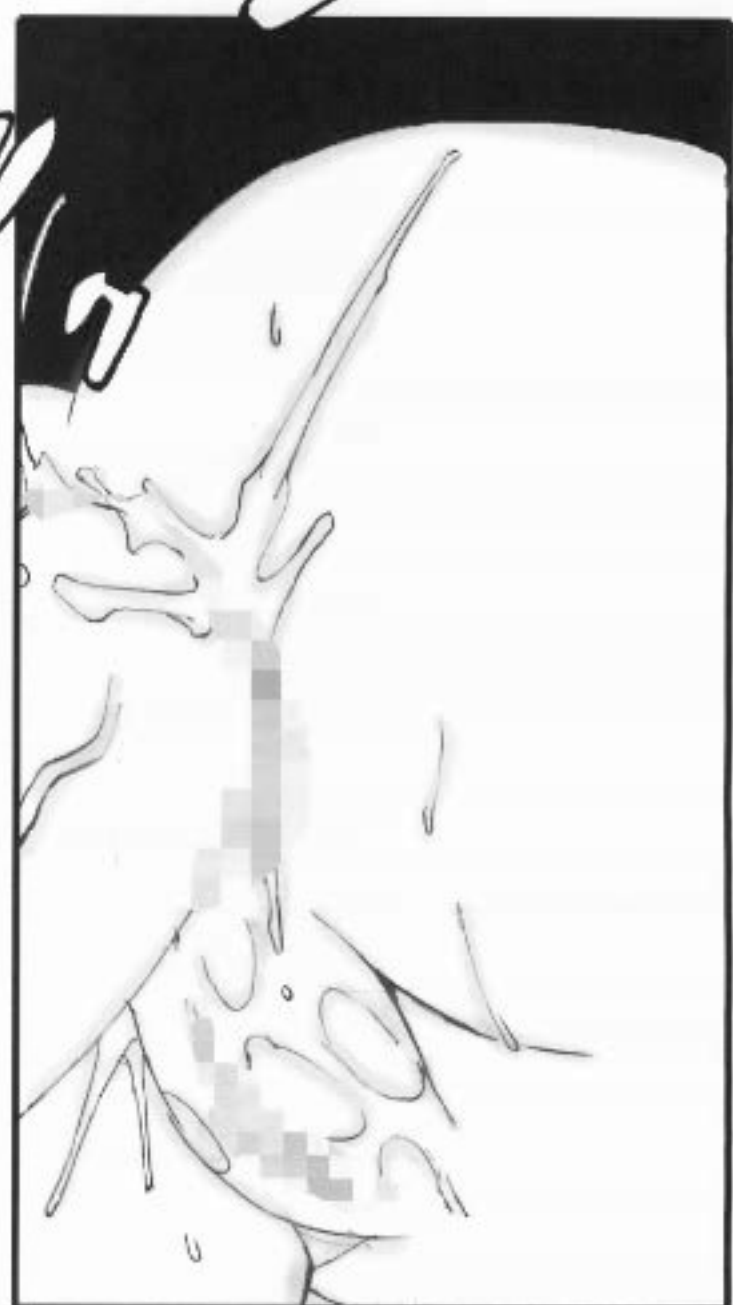
さっ。
しっかり御奉仕するのよ。
そしたら許してあげる。

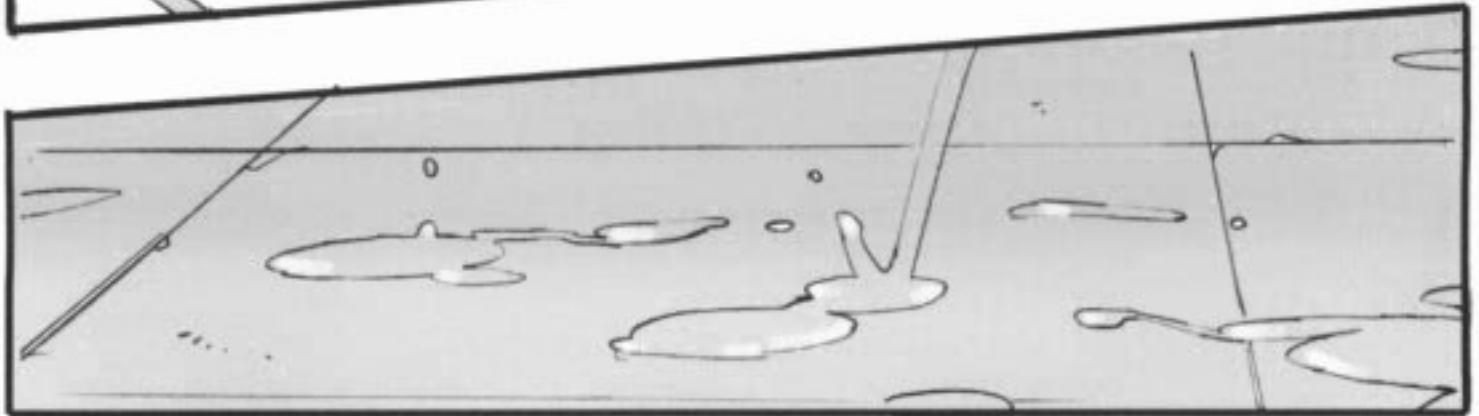


ん...♡
なかなか上手じゃない。





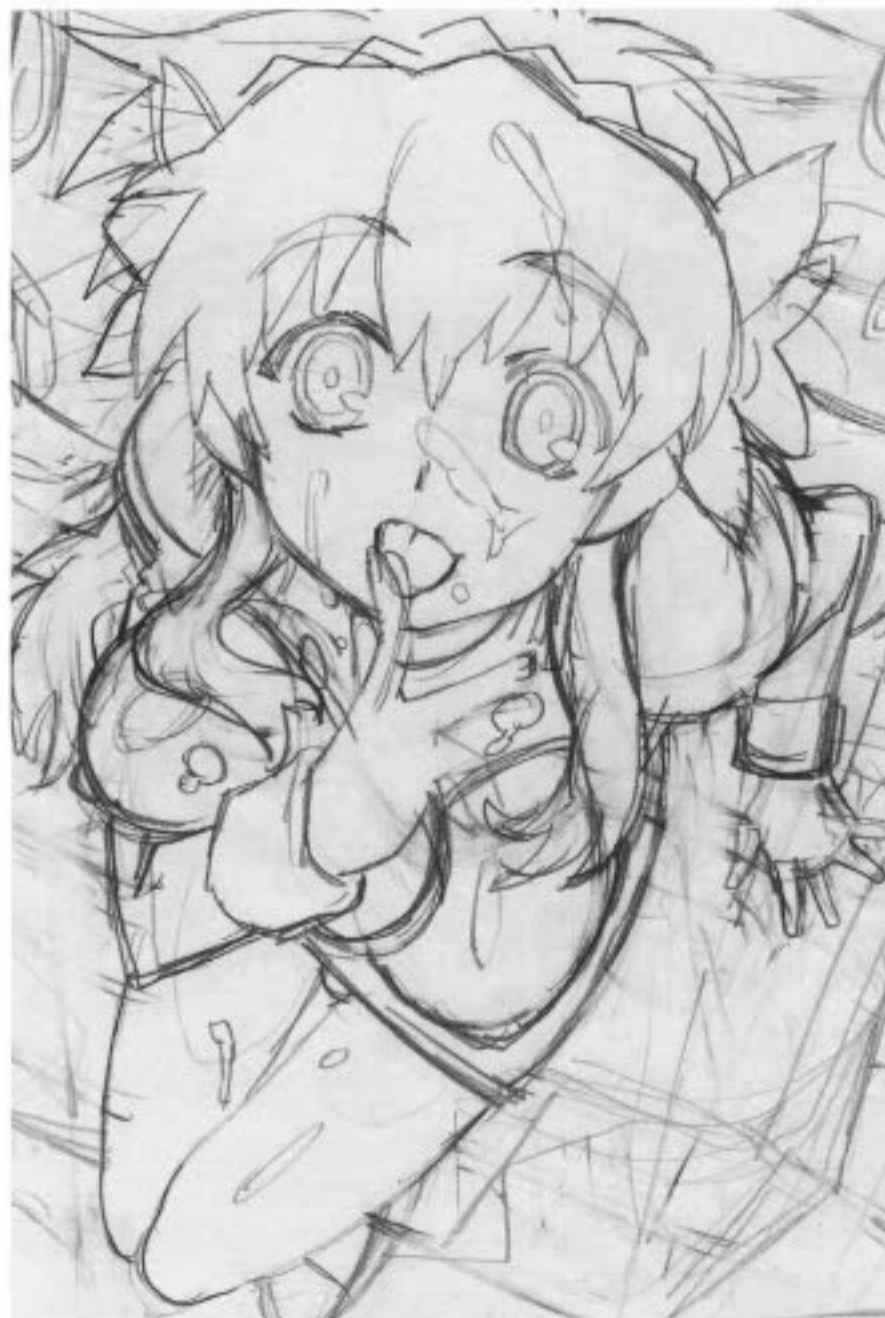






皆さんこんにちは。荒井です。
さて、今回は一応マンガっぽいものを...ということで
描きはじめたギャラクシーエンジェルのマンガ
なんですが、結局線の羅列というか...全然マンガ
になってませんね。まだまだ勉強不足です。

この本で個人誌としては3冊目です。テーマなんてものが
あるとしたら、「前回よりもよいものを...」といったと
ころでしょうか。そういうことで本作ってればそのうち
納得いくものができるんじゃないかと...消極的。



最初の表紙用ラフ。レイアウトきまらず、
結局ボツ。

15inch.





1 5 i n c h

15inch.

近況とか

最近我ながらアニメを観なくなったりまして〜。
去年はそれでも「魔法使いに大切なこと」とか「ガド、ガード」
「ボンバーマンジェットス」と、なにかとみてた著なんですけど、
今年はまだそういう作品に出会えてないことがちょっと残念
だったり。

そんじやなにやってるかという、オモチャ買ったリプラモ作っ
たりが大部分でして〜、まあそれは前からかわらないんですが、
しかし昨今のオモチャはほんと出来がよいです。最近のお気に入り
は超合金魂「ザンボット3」で、暇があればいじってます。
ちょっと高価なのが難点ですけどね。
あとはわかファンまっしぐらのスパイダーマン関係の洋モノ系
とか

アニメじゃないんですが、漫画の「たかまれ!タカマル」が気にな
ったりまして〜、当然幸地たん萌〜なわけですが、冬あたりに
かきたいな〜、なんて目論んどります。

あつ！
やっと来た。

君の「エ」
ずっと待ってたんだよ。

服脱いじゃうから
ちよと待ってね

さう、
準備オッケー!

今日は
何しようか?

えっ？
オナニー？
いいよ♡
でも
ちゃんと見てね。



んぎゅ。
おつきすぎて入りきらないよ。







～爆裂堕天使～

暗い部屋に浮かぶ影がしだいに近
付いてくる。おもむろに取り出した性
器をメグに押し付ける。
今日で何日たつのだろう...？
少し考えたがすぐにあきらめた。
空ひとつないこの部屋に連れて来ら
れた日にメグは何人もの男に犯され
た。
薬を打たれ、朦朧とする意識の中で
男達の生臭い精液を全身に浴びせら
れた。
麻薬で全身の感覚を何倍にも増幅れ
たメグの身体は、何度も絶頂の高み
に押しやられ、潮を吹き、気を失って
は強制的に覚醒させられ、そしてまた
何度も絶頂を繰り返した。

挿れられた当初は綺麗な黄色だった衣類も、今は汗と垢と糞尿にまみれて黒ずみ、自らの身体にかけられた精液とともに臭気を放っていた。「おおっうっっ!まごイイイッ!ソレいっ!気持ちいいっ!もっとして、してえー!へあああー」より多くの快楽を得ようと必死になってメグは両足を無理なかに股に開き、身を乗り出して男達のペニスにその身をすりつける。半ば薬酒けにされたメグの精神はもはや正気を保つことが困難になっていた。拡張性に乏しい穴が無理矢理押し広げられ、ピストンされる感覚すら今のメグにとっては甘美な刺激でしかない。



「っ!ア〜っ!にっ…ほごっ…ほっ!!」
喉を犯すペニスが突然大きく跳ねた。それとともに先端から白濁液が噴き出し、気管と食道へ浸透する。同時に下半身を犯していたものも一斉の爆発した。男達のペニスからは大量の白濁液が噴き出し、膣奥から子宮を、肛門から直腸を、尿道から膀胱を埋め尽くさんばかりに満たし、溢れ出して白い糸を引く。「はあっ、はあっ、はああああうっあー…あひゅっ、うくけほっ!!ずほっけほっ!!はあ、はああ…はあ、はあ、ほっ……」まともな呼吸を取り戻してメグは安堵のため息をつく。…と突然下半身に激痛がはしる。見ると大型のホースを無理矢理膣と肛門の押し込もうとしている。

「あっ、やめっ…やめてえっ!」

泣き叫ぶメグのことなどお構い無しにそのままホースを押し進める。

「ひぎゃっ! あっ、あっ、…いやあっ、いやあああああ!」

やっとホースの侵入が終わったかと思うと今度は大量の液体が体内に流れこんでくる。

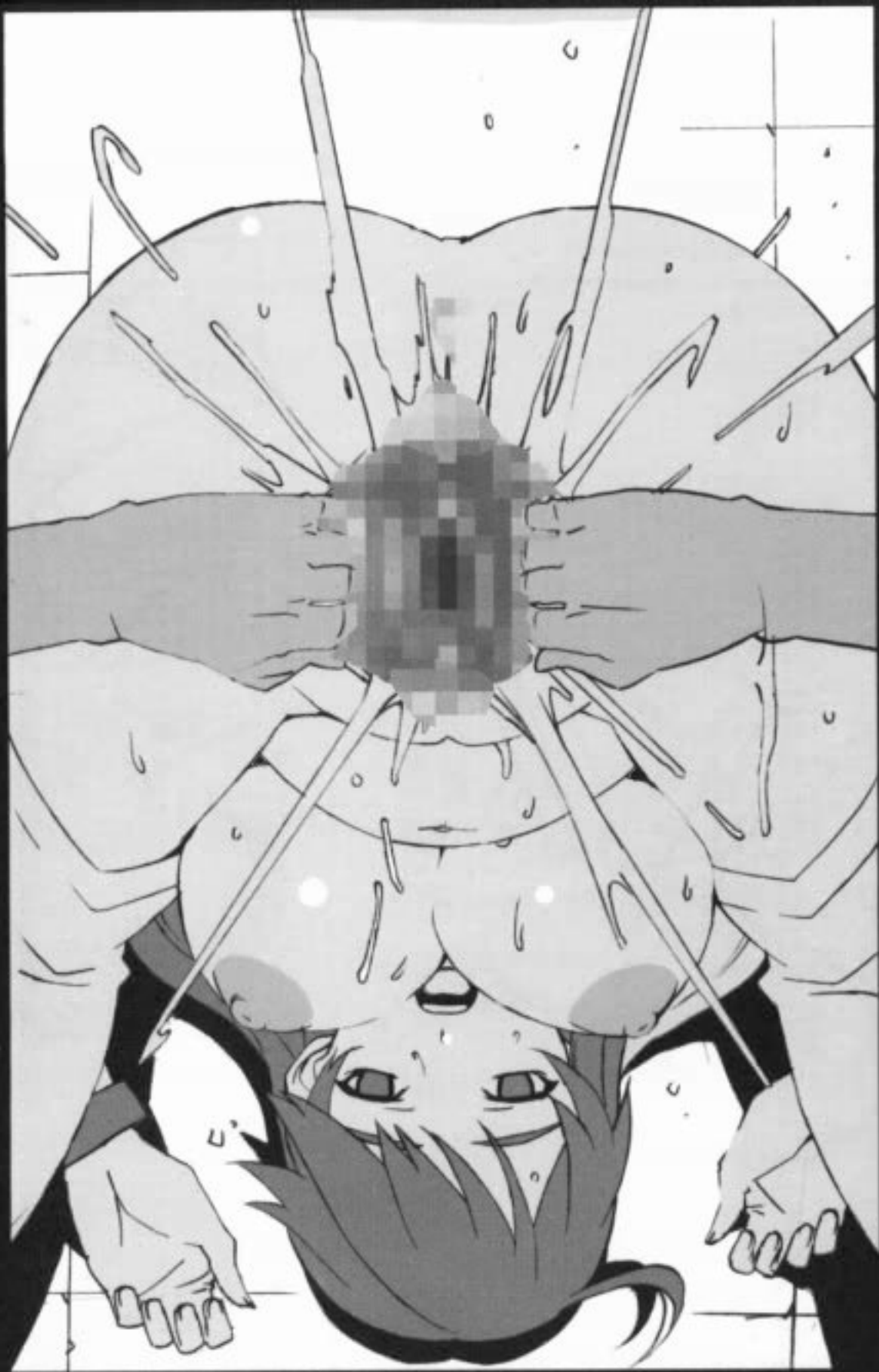
そのおぞましい感覚にメグは悲鳴をあげた。

「うあっ、うあああああ、なに、何?…おほおほうううっ!」

龍田によってぶっくりと膨れ出した下腹部の鈍痛にメグは苛まれていた。

「くっ…くああっ! お腹ぁ、苦しいの、…くう、…あああああっ!」





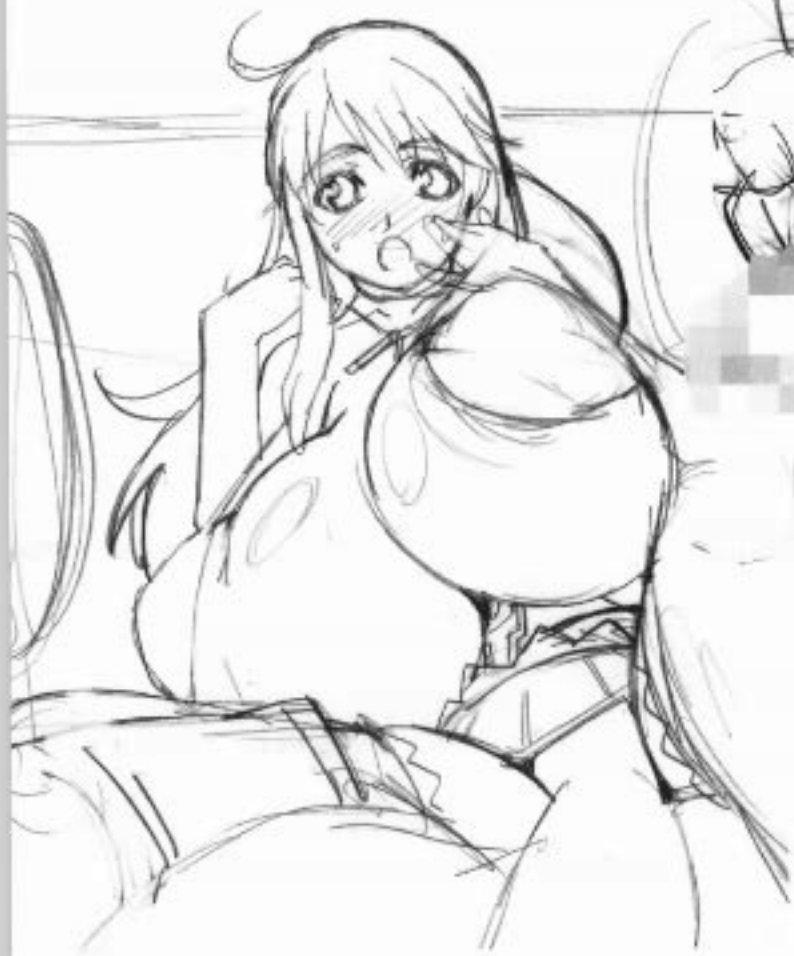
くさゆるるるるる、と下腹部から派手な音が鳴り響いた。
男達はホースに手をかける。
「やあっ、やめてえ、抜かないで、抜いたら、—やあああ！」
男達はメグの懇願などまるで気にせず、いっきにホースを引き抜く。
同時に派手な精出音をたてて、メグの直腸と子宮が爆発した。
「いやあっ！だめえっ、出ちゃう、出ちゃううううう！止まってええ〜っ！」
排泄され続ける液体は周囲に臭いをまき散らしながらコンクリートの床一面に広がり
積ける。
「あああ、はあああああ〜 — いやあ、見ないでえ〜 — 止まんないよおおおお —」
心のどこかで僅かに抵抗しながらも、張り詰めていた腹膜が先に戻ってゆく
開放感に、メグはいつしか倦怠の表情を浮かべていた。
もう、ここから逃げ出そうなどということは考えなくなっていた。
今はただ、快楽を貰うだけの肉人形がそこにあるだけだった。

今年に入ってからのラクガキです。
下の幸地たんはちょっとお気に入り。
冬は本出したいな〜。



15inch.

トランスフォーマースーパーリンク
のミーシャたん萌～。

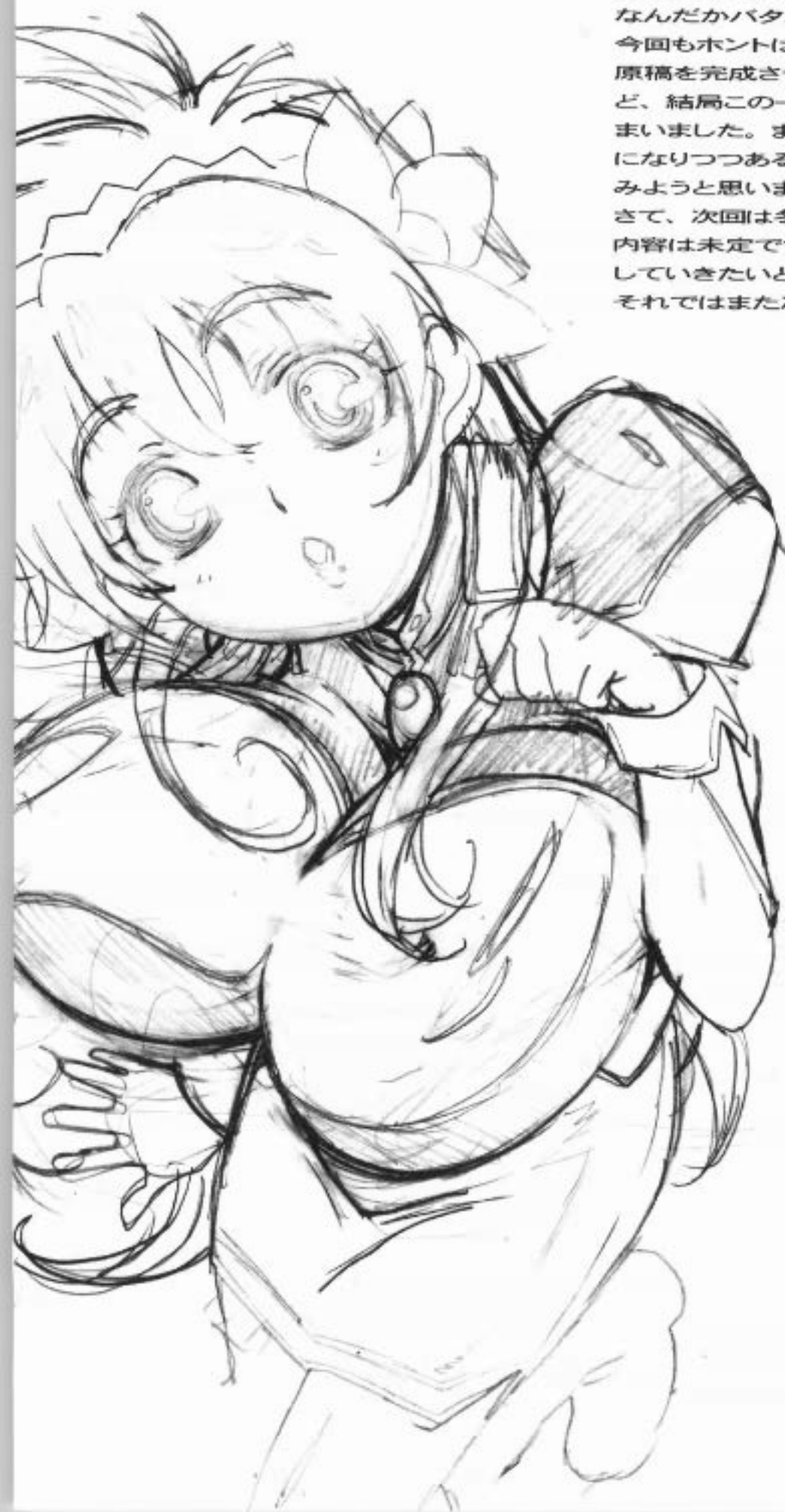


そんなわけでそろそろおわかれです。



あとがき

毎度のことですが、準備はわりとはやい
うちからしているものの、最後のほうは
なんだかバタバタしてしまいます。
今回もホントは魔法少女アイの
原稿を完成させるつもりだったんですけ
ど、結局この一冊で時間切れとなってし
まいました。まあ、アイの方はライフワーク
になりつつあるので、納得いくまでやっ
てみようと思います。
さて、次回は冬コミを予定しています。
内容は未定ですが、随時HPでお知らせ
していきたいとおもいます。
それではまた次の本でお逢いしましょう。



web: <http://www1.ocn.ne.jp/~orange-w/>



Kansai-Orange 2004 summer

15inch.

2004.8.15 発行

著者&発行者 荒井 啓

e-mail occhan@mocha.ocn.ne.jp

印刷 PICO

Kansai orange